

作成日 2023年 8月 7日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン
製品名	2-Chloro-4,6-diphenyl-1,3,5-triazine
製品コード	2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン
SDS整理番号	F-016420
会社名称	ZC23006-01
住所	善ケミカル株式会社
電話番号	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
FAX番号	03-3839-5861
緊急連絡電話番号	03-3839-5877
推奨用途および使用上の制限	03-3839-5861 紫外線吸収剤の添加剤として使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	—
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
環境に対する有害性	—

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激

注意書き

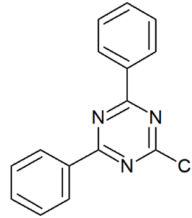
- 【安全対策】
P264 取り扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 【応急措置】
P302+P352 皮膚についた場合、多量の水で洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305+P351+P338 目に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 目の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
- 【廃棄】
P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に関係しないまたはGHSで扱われない他の危険有害性 情報なし
重要な徴候および想定される非常事態の 情報なし

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名または一般名	2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン 2-Chloro-4,6-diphenyl-1,3,5-triazine
CAS番号	3842-55-5
分子式(分子量)	C ₁₅ H ₁₀ ClN ₃

構造式または示性式

成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

95.0 %以上 (HPLC)

化審法：－
安衛法：8-(3)-1552

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。
ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。
もしも皮膚刺激または発疹が発生した場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

急性症状および遅発性症状の最も重要な
徴候症状気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること。口をすすぐこと。
情報なし応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項救助者はゴム手袋や密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤
火災時の特有の危険有害性粉末消火剤、泡、水噴霧、二酸化炭素
燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特有の消火方法

消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
関係者以外は安全な場所に退去させる。消火活動を行う者の特別な保護具および
予防措置周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所移す。
消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急
時措置個人用保護具を着用する。
漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法および機材製品が排水路に排出されないよう注意する。
粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

保管

安全な保管条件

容器を密栓して冷暗所に保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

法令の定めるところに従う。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
設備対策

設定されていない。

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
防塵マスク、簡易防塵マスク等。

保護具 呼吸用保護具

手の保護具	保護手袋。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡。状況に応じ保護面。
皮膚および身体の保護具	保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体
形状	結晶～粉末
色	白色～赤みの黄色
臭い	情報なし
融点/凝固点	140℃
沸点または初留点および沸点範囲	情報なし (計算値:>60℃)
可燃性	情報なし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
[水]	情報なし
[その他の溶剤]	情報なし
可溶:	トルエン
n-オクタノール/水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度および/または相対密度(g/ml)	1.06
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10. 安定性および反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入: ガス	情報なし
	吸入: 蒸気	情報なし
	吸入: 粉じん および ミスト	情報なし
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		
IARC =		情報なし
NTP =		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		情報なし
甲殻類		情報なし
藻類		情報なし
残留性・分解性		情報なし
生物蓄積性(BCF)		情報なし
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
土壤吸着係数(Koc)		情報なし
ヘンリー定数(PaM3/mol)		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。適切な保護具を着用する。
焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意**国際規制**

国連番号
国連分類

該当なし
国連の分類基準に該当せず。

国内規制

陸上規制情報
海上規制情報
航空規制情報

道路法の規制に従う。
船舶安全法の規制に従う。
航空法の規制に従う。

輸送または輸送手段に関する特別な安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報**主な参考文献**

ウェブサイト "PubChem" (2023/08/04 アクセス)
安全データシート " ", 東京化成工業株式会社 2022/03/19 改訂版
SAFETY DATA SHEET "(Appolo-115)2-Chloro-4,6-diphenyl-1,3,5-triazine", SAREX OVERSEAS CO., LTD, Version 03

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴

2023年 8月 7日

作成